

ハローキャリアワーク通信



3月26日（火曜日）冷たい雨が降る日に、「ハローキャリアワーク」が、社会福祉法人菊清会 さくらしんまち保育園で行われました。この保育園では、今日の午

前、午後（4時から）と28日の午前、午後と4回行われます。これが今年度最後です。今日は、天候が影響したのか2名が欠席し、1名のお子さんの参加となりました。小学4年生のためか、簡単な打ち合わせの時は、緊張の様子で少しかわいそうな思いをさせてし



まいました。しかし、園児のいる部屋に行くと、教室の担当の先生の声掛けもあり、徐々に緊張も和らぎ、園児とのかかわりが出始めました。そのきっかけは「タッチ」でした。担当の先生が、座っていた子に「タッチしてあげて」と声を掛けくださり、園児の手を参加した子の手に向けました。始めは、園児が手を引っ込めてしまいましたが、次は、4年生の子が手を近づけたことで、「タッチ」ができました。このことから、園児も続けて「タッチ」を返してくれるようになり、4年生の子も段々と緊張が解れ、触れ合いが多くなり、園児と混じって遊ぶ姿が見られるようになりました。担当の先生が、マットを使ってスロープを作る際には、場所づくりに積極的に関わるようになっていました。

今度は、部屋を移動して、朝の挨拶を「電子オルガン」で先生が行い、園児一人一人の呼名や手遊び歌を行うと、園児に寄り添いながら一緒に行っていました。その後は、ブロックやミニカーなど使って楽し



そうに遊ぶ姿に「笑顔」も見えました。2時間近くの活動でしたが、本人なりに満足したようで最後の振り返りには次のように記してありました。

「今日の体験を通して、人と関わることは、個性を

見付けられるから大切なんだなと思いました。」また、「自分から、感じて



ていることを伝えることができたので、これからの生活でもその行動を使いたいです。」このような振り返りを記していることから、いい体験につながったことと思います。

午後4時から、さらに激しい雨になりましたが、2人の子どもが参加してくれました。中学2年生と小学4年生の子どもです。午後



は、1時間ほどしか活動時間がありません。始めは、午前中と同じで緊張した様子でしたが、園児との距離を近くに取り、触れ合う姿勢を見せていました。また、参加した理由が、中学生の子は、幼稚園の先生になりたいという夢、4年生の子は親せきに幼い子がいるので、もっと優しく接するこ



とがしたいからということで、ある程度できたのかと思いました。さらに、園児たちの人懐っこさから、膝の上に乗りに来る子やおもちゃを見せに寄ってきてくれる子などとの関わりから2人も園児と触れ合うことができるようになり、楽し



げな笑顔になってきました。ブロックで遊んだり、ボール投げをしたりする中で、満足した様子が伺えました。二人の振り返りには、「こういう体験に参加して、将来の夢の幼稚園の先生に生かしたいです」とか「従妹などの年下の子に優しくしたいです」など、参加動機をさらに膨らませたことが記されていました。